

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 エバラ食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2819 URL http://www.ebarafoods.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 遵
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高井 孝佳 TEL 045-314-0121
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,031	4.7	407	53.2	406	41.2	193	78.7
25年3月期第1四半期	11,495	△8.7	266	△74.0	287	△72.9	108	△81.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 204百万円 (114.5%) 25年3月期第1四半期 95百万円 (△84.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	21.11	—
25年3月期第1四半期	10.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	29,805	17,690	59.4	1,934.56
25年3月期	28,952	17,734	61.3	1,939.22

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,690百万円 25年3月期 17,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,180	2.9	1,136	10.3	1,108	7.2	539	0.6	58.94
通期	50,000	3.2	1,560	10.5	1,500	4.8	739	0.9	80.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	12,398,400株	25年3月期	12,398,400株
26年3月期1Q	3,253,836株	25年3月期	3,253,249株
26年3月期1Q	9,144,705株	25年3月期1Q	10,609,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、金融緩和等の各種政策により全体としての景況感は徐々に改善されつつありますが、消費税増税による将来的な影響や所得環境の不安等もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識や節約志向は依然として根強く、消費者ニーズも多様化する等、難しい経営環境が続いております。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、「たれ・素・スープ」を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。昨年からスタートしたフェイスブックに加え、会員制サイトのエバラClubをオープンする等、より多くのお客様とのコミュニケーションを促進し、情報発信力を高めることで、当社商品の認知向上とエバラブランドの価値向上を図っております。また、肉の効能に関する啓蒙や「肉1tプレゼントキャンペーン」を展開する等、精肉需要の活性化にも取り組んでおります。さらに、発売35周年を迎えた『黄金の味』の記念限定品を発売し、あらためて「リンゴ」を中心にフルーツをふんだんに使った『黄金の味』の商品価値を訴求するとともに、レシピ本により汎用メニュー提案を行う等、当社基幹商品の活性化も図っております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、120億31百万円（前年同期比4.7%増）となりました。その主な要因としては、新商品の『にんにくのたれ』やメニュー専用調味料の『生姜焼のたれ』等が好調な売上を見せたこと、また、汎用調味料としてクローズアップされた『浅漬けの素』が売上を伸ばしたこと、さらに、広告宣伝事業を中心にその他事業が好調に推移したことが要因として挙げられます。利益面につきましては、売上高の増加に加え、売上原価率及び販管費率が前年同期水準以下に抑えられたことにより、営業利益は4億7百万円（前年同期比53.2%増）、経常利益は4億6百万円（前年同期比41.2%増）、四半期純利益は1億93百万円（前年同期比78.7%増）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

(食品事業)

家庭用商品は前年同期売上高を上回りました。

肉まわり調味料群につきましては、精肉需要の好転等を背景に基幹商品の『焼肉のたれ』や『黄金の味』が底堅く推移したほか、父の日のキャンペーンにおいて『おろしのたれ』とともに投入した新商品『にんにくのたれ』が好調な売上を見せ、また、統一ブランド「たれプラス」を導入したメニュー専用調味料が『生姜焼のたれ』を中心にラインナップを充実させ伸ばした結果、前年同期実績を上回りました。鍋物調味料群につきましては、汎用調味料としての利用価値を高めた『すき焼のたれ』が堅調に推移し、前年同期実績を上回りました。野菜まわり調味料群につきましても、『浅漬けの素』が前第1四半期における震災後の一時的な需要の反動減から復調したことに加え、汎用性の高い調味料としてメディアに取り上げられ売上を伸ばした結果、前年同期実績を上回りました。その他群につきましては、横濱舶来亭カレーフレークが堅調に推移したこと等により、前年同期実績を上回りました。

業務用商品につきましては、肉まわり調味料群及びスープ群が営業活動の強化と新商品投入により売上を伸ばし、また、その他群についても特注品の増加等により伸ばした結果、前年同期売上高を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は105億62百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、既存顧客の拡販により広告宣伝事業が前年同期実績を上回り、物流事業及び人材派遣事業についても積極的な営業活動が奏功し前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は14億69百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び商品群名	前第1四半連結累計期間 (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
食品事業	10,128	10,562	4.3
家庭用商品	8,040	8,404	4.5
肉まわり調味料群	4,962	5,156	3.9
鍋物調味料群	1,106	1,155	4.4
野菜まわり調味料群	1,623	1,737	7.0
その他群	348	354	1.8
業務用商品	2,087	2,157	3.4
肉まわり調味料群	668	707	5.9
スープ群	827	844	2.1
その他群	592	605	2.3
その他事業（広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業）	1,367	1,469	7.5

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し8億53百万円増加して298億5百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億66百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が16億29百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8億97百万円増加して121億15百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億60百万円、賞与引当金が3億38百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、43百万円減少して176億90百万円となりました。これは主に、利益剰余金が53百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ7億72百万円減少し、29億38百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、4億85百万円（前年同四半期は13億52百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益において4億6百万円獲得した一方、売上債権の増加16億20百万円による減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億9百万円（前年同四半期は1億91百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億79百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、11百万円（前年同四半期は25百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金純増加額2億50百万円と配当金の支払2億37百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、「受取賃貸料」に対応する費用については、「売上原価」に含めて表示しておりましたが、重要性の観点から当第1四半期連結累計期間より、営業外費用に「賃貸収入原価」として表示する方法に変更しております。

これは、当社グループの事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」で表示していた3,499千円を営業外費用の「賃貸収入原価」に組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,333,854	3,467,569
受取手形及び売掛金	9,311,308	10,941,288
有価証券	350,249	200,279
商品及び製品	1,338,793	1,327,564
原材料及び貯蔵品	520,692	532,471
繰延税金資産	384,979	385,956
その他	565,528	736,649
貸倒引当金	△470	△1,476
流動資産合計	16,804,937	17,590,303
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他(純額)	5,153,870	5,089,061
有形固定資産合計	8,162,702	8,097,892
無形固定資産		
	350,494	319,983
投資その他の資産		
投資有価証券	2,064,994	2,065,072
長期貸付金	44,784	206,569
繰延税金資産	884,553	903,450
その他	685,304	668,417
貸倒引当金	△45,757	△45,757
投資その他の資産合計	3,633,878	3,797,751
固定資産合計	12,147,075	12,215,627
資産合計	28,952,013	29,805,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,113,417	5,573,624
短期借入金	166,404	416,600
未払金	1,655,832	1,243,141
未払法人税等	110,949	206,960
賞与引当金	284,962	623,779
販売促進引当金	534,771	491,373
その他	363,649	508,050
流動負債合計	8,229,986	9,063,528
固定負債		
退職給付引当金	2,757,633	2,827,190
資産除去債務	11,725	11,766
その他	218,241	212,737
固定負債合計	2,987,601	3,051,694
負債合計	11,217,587	12,115,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	18,312,335	18,258,459
自己株式	△3,925,336	△3,926,217
株主資本合計	17,429,391	17,374,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,446	248,781
為替換算調整勘定	21,587	67,291
その他の包括利益累計額合計	305,034	316,072
純資産合計	17,734,426	17,690,708
負債純資産合計	28,952,013	29,805,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	11,495,769	12,031,839
売上原価	5,815,859	6,049,364
売上総利益	5,679,910	5,982,474
販売費及び一般管理費	5,413,678	5,574,727
営業利益	266,231	407,746
営業外収益		
受取利息	2,807	2,578
受取配当金	17,337	17,852
受取賃貸料	4,965	5,681
その他	33,660	7,558
営業外収益合計	58,770	33,671
営業外費用		
支払利息	834	300
賃貸収入原価	3,499	4,217
持分法による投資損失	33,175	28,855
その他	—	1,989
営業外費用合計	37,509	35,363
経常利益	287,492	406,054
特別利益		
固定資産売却益	—	798
特別利益合計	—	798
特別損失		
固定資産除却損	22,672	383
投資有価証券評価損	3,447	—
特別損失合計	26,120	383
税金等調整前四半期純利益	261,372	406,470
法人税等	153,336	213,426
少数株主損益調整前四半期純利益	108,035	193,043
四半期純利益	108,035	193,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,035	193,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,909	△34,665
為替換算調整勘定	21,012	45,703
その他の包括利益合計	△12,897	11,038
四半期包括利益	95,138	204,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,138	204,081
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,372	406,470
減価償却費	260,012	264,596
固定資産除却損	22,672	383
固定資産売却損益(△は益)	—	△798
投資有価証券評価損益(△は益)	3,447	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	131	1,005
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,152	69,557
賞与引当金の増減額(△は減少)	311,543	338,816
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△21,367	△43,398
受取利息及び受取配当金	△20,144	△20,431
支払利息	834	300
持分法による投資損益(△は益)	33,175	28,855
売上債権の増減額(△は増加)	△1,309,040	△1,620,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,790	3,498
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,104	458,052
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,527	61,393
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△4,680
未払金の増減額(△は減少)	△450,496	△258,624
その他	90,738	△77,296
小計	△850,754	△392,940
利息及び配当金の受取額	21,129	21,454
利息の支払額	△834	△300
法人税等の支払額	△521,878	△114,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,352,338	△485,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	2,083	1,735
貸付けによる支出	—	△191,734
定期預金の払戻による収入	136,000	100,000
定期預金の預入による支出	△106,000	△6,000
投資有価証券の取得による支出	△2,475	△2,382
有価証券の償還による収入	400,000	150,000
有価証券の取得による支出	△600,000	—
関係会社株式の取得による支出	—	△56,606
有形固定資産の売却による収入	—	1,076
有形固定資産の取得による支出	△31,939	△279,185
無形固定資産の取得による支出	△25,632	△42,989
その他	36,929	17,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191,035	△309,053

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,197	250,196
配当金の支払額	△274,889	△237,843
自己株式の取得による支出	△896	△880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,589	11,471
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,961	11,160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,566,001	△772,255
現金及び現金同等物の期首残高	6,071,374	3,711,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,505,372	2,938,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは食品事業を主な業務としており、「食品事業」を報告セグメントとしております。

「食品事業」は肉まわり調味料、鍋物調味料、野菜まわり調味料、スープ等の製造及び販売事業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	10,128,038	1,367,731	11,495,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	10,128,038	1,367,731	11,495,769
セグメント利益	356,289	17,223	373,512

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	356,289
「その他」の区分の利益	17,223
全社費用(注)	△107,280
四半期連結損益計算書の営業利益	266,231

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは食品事業を主な業務としており、「食品事業」を報告セグメントとしております。

「食品事業」は肉まわり調味料、鍋物調味料、野菜まわり調味料、スープ等の製造及び販売事業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	10,562,087	1,469,751	12,031,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	10,562,087	1,469,751	12,031,839
セグメント利益	495,595	21,095	516,690

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報（表示方法の変更）」に記載のとおり、従来、「受取賃貸料」に対応する費用については、「売上原価」に含めて表示しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、営業外費用に「賃貸収入原価」として表示する方法に変更しております。この結果、遡及処理を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の食品事業のセグメント利益は、3,499千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	495,595
「その他」の区分の利益	21,095
全社費用（注）	△108,944
四半期連結損益計算書の営業利益	407,746

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。